

防 災 係

第 1 災害対策・消防活動

1 災害対策

(1) 訓練

ア 福生市総合防災訓練

日 時 平成 22 年 8 月 29 日(日) 災害対策本部訓練 午前 8 時 30 分～正午
各訓練会場 午前 9 時 00 分～正午

目 的 大規模な地震が発生したとの想定による、市民の迅速な避難、関係機関との連携及び自主防災組織の行動力の向上を図った。また、本会場では自衛隊による炊出し訓練を、各避難所では電話が使えないことを想定した防災行政無線の通信訓練を実施した。

場 所 災害対策本部 福生市役所 (95人)
第1訓練会場 福生第五小学校(322人)
第2訓練会場 福生第一小学校(224人)
第3訓練会場 福生第二小学校(229人)
第4訓練会場 福生第三小学校(167人)
第5訓練会場 福生第四小学校(168人)
第6訓練会場 福生第六小学校(193人)
第7訓練会場 福生第七小学校(216人)
第8訓練会場 福東グランド(86人)
福生市災害ボランティアセンター 福生市福祉センター(96人)
(ふっさボランティア・市民活動センター)

()内は各訓練会場参加者数

参加機関 福生市 福生市消防団 福生消防署 福生警察署 陸上自衛隊 福生市交通安全推進委員会 福生防災女性の会(株)NTT東日本-東京西武陽ガス(株) 福生アマチュア無線クラブ 福生LPG協会 災害時支援ボランティア ふっさボランティア・市民活動センター 市内自主防災組織 福生市医師会 公立福生病院 東京都柔道接骨師会西多摩支部福生地区 福生市建設防災協力会

参加者数 1,796人

イ 起震車体験訓練

目 的 人工地震の揺れのなかでの出火防止、避難路確保等の実践体験を通じて防災行動力の向上及び防災意識の高揚を図ることを目的とし、自主防災組織(町会)、学校、事業所等で福生消防署の協力により、初期消火訓練、応急救護訓練等と併せて行った。

運用回数 11回(平日 7回 土・日曜日 4回)

運用先 自主防災組織 3回 学校等 6回 事業所等 2回

体験者数 1,679人

(2) 災害対策事業

ア 防災啓発活動

(ア) 自主防災リーダー講習会及び救命講習会

講習日 平成 22 年 6 月 26 日(土) 午前 9 時 00 分～午後 3 時 45 分

場 所 福生市役所

受講者数 53人

(イ) ふっさ防災展

開催日 平成 23 年 1 月 15 日(土)・16 日(日)

場 所	福生市プチギャラリー	
内 容	「福生市の防災」	福生市の防災訓練、新協定紹介、 備蓄品と備蓄食糧
	「自分の身を守る」	福生市の避難場所、各種資料配布
	「特設コーナー」	福生市家具転倒防止器具支給事業、災害時 要援護者登録制度・救急医療情報キット紹 介、住宅用火災警報器、消火器の点検・廃 棄方法、応急救護指導・A E D体験コーナ ー、子ども用防火服試着コーナー

コーナーごとに、パネル・実物の展示及びパンフレットの配布を実施。また、ビデオ上映も行った。

入場者にはアルファ米を1袋ずつ、大人には展示解説シートを、子どもには消防署で用意した消防消しゴムと消防折り紙を持ち帰ってもらった。

見学者数 229人

(ウ) 自主防災組織による災害体験学習

月日	自主防災組織名	学習場所	参加者数(人)
5.20	鍋ヶ谷戸第一地区	埼玉県防災学習センター	25
6.20	本町第七地区	四谷消防博物館	45
6.27	福生団地地区	栃木県防災館	37
7.4	武蔵野地区	本所防災館	27
9.12	本町第一地区	埼玉県西部防災センター	22
9.16	富士見台地区	横浜市民防災センター	31
9.19	本町第二地区	北区防災センター	30
10.3	志茂第二地区	立川防災センター	23
10.16	永田地区	池袋防災館	27
10.23	南田園二丁目地区	本所防災館	24
10.23	志茂第一地区	本所防災館	52
10.24	本町第三地区	立川防災センター	20
10.30	武蔵野台一丁目地区	山梨県防災センター	40
10.31	本町第六地区	立川防災センター	23
11.13	南地区	池袋防災館	30
11.14	福栄地区	立川防災センター	27
11.23	本町第八第一地区	前橋防災センター	38
11.27	福東地区	横浜市民防災センター	44
12.5	本町第八第二地区	立川防災センター	32
H23.1.30	熊川牛浜地区	本所防災館	104
2.11	牛浜第一地区	四谷消防博物館	21
2.12	内出地区	本所防災館	28
2.13	原ヶ谷戸地区	千葉県君津市火力発電所	32
2.15	玉川台地区	東京臨海広域防災公園	27
2.20	加美第一、第二地区	北区防災センター	30
2.26	長沢地区	立川防災センター	30

3.20	加美平団地地区	立川防災センター	30
合計			899

(エ) 自主防災訓練の実施

自主防災組織名	参加者数(人)	自主防災組織名	参加者数(人)
福生熊川住宅地区	391	志茂第一地区	97
南地区	124	志茂第二地区	206
内出地区	167	本町第一地区	6
武蔵野地区	85	本町第二地区	15
福東地区	144	本町第三地区	28
鍋ヶ谷戸第一地区	11	本町中央地区	17
鍋ヶ谷戸第二地区	85	本町第六地区	161
玉川台地区	186	本町第七地区	146
富士見台地区	236	本町第八第一地区	332
福栄地区	79	本町第八第二地区	105
熊川牛浜地区	196	武蔵野台一丁目地区	16
福生団地地区	四地区合同水防 災訓練 84	加美平団地地区	147
南田園一丁目地区		永田地区	290
南田園二丁目地区		長沢地区	8
南田園三丁目地区		加美第一地区	二地区合同 805
牛浜第一地区		加美第二地区	
牛浜第二地区	110	合 計 (34 地区)	4,915
原ヶ谷戸地区	508		

イ 各自主防災倉庫配備品

品名	各数量	品名	各数量
毛布	15 枚	投光機	1 台
ポリタンク	1 個	三脚(投光機用)	1 台
応急救護セット	1 セット	発電機	1 台
骨折セット	1 セット	ガソリン携行缶	1 個
救急箱	1 セット	ロープ(15m)	1 巻
担架	4 台	三角バケツ	10 個
テント	1 張	のこぎり	1 本
ヘルメット	45 個	オイルパン	2 個
ハンドマイク	2 台	メガホン (トランジスター型 1 台)	5 個
移動式炊飯器	1 台	のぼり旗	2 本
防水シート	10 枚	リヤカー (折りたたみ式 2 台)	3 台
スコップ	5 本	バール	1 本
コードリール	1 巻	ラジオ付ライト	3 個
強力ライト	3 個	チェーンソー	1 台
ハンマー	3 本	災害救助工具セット	2 セット
つるはし	1 本	軽可搬式消防ポンプ	1 台
一輪車	1 台		

内出地区、武蔵野地区、福東地区、熊川牛浜地区、牛浜第一地区、
原ヶ谷戸地区、志茂第二地区、本町第七地区、本町第八第一地区、
本町第八第二地区、永田地区、長沢地区、加美第二地区 計 13 地区

- ウ 応急対策資器材・物資整備計画
応急食糧として乾パン等のランニングストックを継続実施した。
- エ 初期消火体制強化計画
街頭設置消火器及び格納箱の新旧取替えを実施した。

2 消防活動

(1) 常備消防(福生消防署)

福生市、羽村市、瑞穂町の2市1町を管轄区域として、本署と3出張所に総員179名の署員と消防ポンプ車5台、非常用ポンプ車2台、化学車1台、はしご車1台、救急車3台、非常用救急車1台、指揮隊車1台、査察広報車4台及び人員輸送車1台からなる陣容で予防行政の執行、災害活動等に従事している。

出場状況(管轄区域) (単位:件)

火災	非火災	水災	救急	救助	危険排除	緊急確認	合計	前年度合計
77	26	5	7,157	315	81	59	7,720	7,538

(2) 非常備消防(福生市消防団)

市内にある5個分団からなる消防団組織(団員186人。消防ポンプ車5台及び指揮車1台を保有)により、消防活動を実施している。

ア 消防団組織

団 長 (1人) 副団長 (4人) 本部付団員 (6人)	—	第一分団長 (1人)	副分団長 (2人)	部 長 (3人)	班 長 (9人)	団 員 (20人)
		第二分団長 (1人)	副分団長 (2人)	部 長 (3人)	班 長 (9人)	団 員 (20人)
		第三分団長 (1人)	副分団長 (2人)	部 長 (3人)	班 長 (9人)	団 員 (20人)
		第四分団長 (1人)	副分団長 (2人)	部 長 (3人)	班 長 (9人)	団 員 (20人)
		第五分団長 (1人)	副分団長 (2人)	部 長 (3人)	班 長 (9人)	団 員 (20人)

イ 配置車両

分団名	車両ナンバー	車 両 の 種 類	車両購入年月日
団本部	八王子800さ6574	普通自動車「ワゴンタイプ」(ニッサン)	平成15年9月
第一分団	八王子88す659	普通消防ポンプ自動車(ヒノ)	平成10年11月
第二分団	八王子88さ8964	"	平成9年10月
第三分団	八王子830さ2303	普通消防ポンプ自動車(ミツビシ)	平成11年11月
第四分団	八王子88さ8169	普通消防ポンプ自動車(ヒノ)	平成9年3月
第五分団	八王子830さ2305	普通消防ポンプ自動車(ミツビシ)	平成12年12月

ウ 年齢別団員数 (単位:人)

年齢 団員数	18~20歳	21~25歳	26~30歳	31~35歳	36~40歳	41~45歳	46~50歳	51歳以上
186	8	42	36	41	38	17	4	0

工 在職年数別団員数

在職年数 団員数	5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年以上
186	59	54	25	39	6	3	0

才 退団・入団員数

(単位：人)

区 分	平成22年4月1日現在	退団者	入団者	階級異動	平成23年4月1日現在
本 部	5				5
本部付団員	6				6
第一分団	34	1	2		35
第二分団	35	1	1		35
第三分団	35	1	1		35
第四分団	35	1	1		35
第五分団	35				35
合 計	185	4	5	0	186

力 消防団員火災出動状況

火災発生件数(件)	出 動 回 数(件)	延べ出動団員数(人)	平均出動団員数(人)
28	17	1,822	107.1

出動回数は管外出動1件を含む。

キ 消防団出動状況(震災関係警戒等)

延べ出動団員数(人)	出 動 回 数(回)
263	3

ク 消防団警戒等特別出動状況

警 戒 名	延べ出動団員数(人)	出動回数(回)
祭 礼 警 戒	109	2
七 夕 警 戒	422	4
歳 末 警 戒	329	5
そ の 他 の 警 戒	308	7
合 計	1,168	18
前 年 度 合 計	936	15

ケ 消防団各種訓練(消防)

訓 練 名	延べ出動団員数(人)	出動回数(回)
火 災 防 御 訓 練	572	7
ポ ン プ 操 法 訓 練	4,163	44
機 関 訓 練	1,654	55
規 律 ・ 礼 式 訓 練	346	3
教 育 訓 練	374	8
住 民 指 導	166	8
合 計	7,275	125
前 年 度 合 計	8,738	174

コ 消防団各種訓練（災害）

訓練名	延べ出動団員数（人）	出動回数（回）
教育訓練	34	1
住民指導	193	4
合計	227	5
前年度合計	414	11

サ ポンプ操法審査会（第 58 回）

審査会は、消防ポンプ操法の基本を身につけ、指揮者と団員との連携を訓練し、もって団員の士気向上を図り、火災防御活動の迅速かつ確実な実施及び火災による生命・財産の損害の防止を目的とし、ホースカーによるホース延長操法及び手びろめによる延長操法を隔年で実施している。

平成 22 年度	ホースカーによるホース延長操法		
	優勝	第 2 位	第 3 位
総合成績	第三分団	第五分団	第四分団
チーム成績	第五分団 B	第三分団 A	第三分団 B

前 年 度	手びろめによるホース延長操法		
	優勝	第 2 位	第 3 位
総合成績	第三分団	第二分団	第五分団
チーム成績	第三分団 B	第五分団 B	第二分団 B

（ 3 ） 火災の状況

ア 月別火災発生件数

区分 月	建 物			車両 (件)	その他 (件)	合計 (件)	焼失面積 (m ²)	非火災 (件)	消防団 出動回数 (回)
	全焼 (件)	半焼 (件)	ぼや (件)						
4					2	2	0	1	1
5		1			1	2	30 (6)	0	1
6			1		2	3	0	1	1
7					1	1	0	0	0
8			2			2	0	1	2
9					1	1	0	1	0
10			2			2	0	0	0
11		1	1		1	3	0 (7)	0	3
12			1			1	0	0	0
23 年 1		1	3		1	5	10 (3)	3	3
2			2			2	0	1	2
3	1	1		1	1	4	91 (10)	3	4
合 計	1	4	12	1	10	28	131 (26)	11	17
前年度 合計	2	4	12	2	8	28	221 (100)	11	19

半焼は、部分焼を含む。

焼失面積は焼失床面積、（ ）内は天井、壁等の焼失表面積

消防団出動回数は管外出動 1 件を含む。

イ 原因別火災件数

(単位：件)

原因		放火 (疑い含む。)	たばこ	ストーブ	ガスコンロ等	火遊び	その他	合計
件数	平成22年度	14	5	0	1	2	6	28
	前年度	12	6	0	2	2	6	28

(4) 消防水利施設

水利

(単位：基、箇所)

消火栓		合計	防火水槽			貯水槽		合計	プール
150mm未満	150mm以上		20 m ³ 未満	20 m ³ 以上 40 m ³ 未満	40 m ³ 以上 60 m ³ 未満	60 m ³ 以上 100 m ³ 未満	100 m ³ 以上		
463	157	620	36 (0)	6 (0)	98 (88)	18 (18)	22 (22)	180 (128)	17

()は、耐震性防火水槽・貯水槽で内数

第2 東日本大震災に伴う対応（一部平成23年度を含む。）

1 発災の概要

平成23年3月11日

午後2時46分 地震発生 震源地：三陸沖 マグニチュード9.0、最大震度7（宮城県栗原市）

福生市内震度4

午後2時49分 大津波・津波警報発表

午後3時18分 大船渡で8.0メートル以上の津波（最大波）を観測

午後3時42分 東京電力は、原子力災害対策特別措置法に基づき、福島第一原子力発電所の1・2・3号機の事故に関し、国、関係県及び市町村へ通報

2 震災直後の福生市の対応

平成23年3月11日

（1） 福生市内の被害状況の確認（発災直後）

ア 市職員によるパトロール出動（パトロールカー4台）

イ 消防団指揮車及び消防団（5個分団）によるパトロール出動

ウ 市内各公共施設へ状況報告を指示

上記3件とも異常なし。ただし、JRの踏切閉鎖により市内各所で渋滞発生との報告あり

緊急対策会議を開催し、各部の情報共有を行う。引き続き市内の被害状況の把握に努めることを確認

（2） 帰宅困難者への対応

ア JR青梅線、五日市線及び八高線が不通のため、拝島駅、牛浜駅及び福生駅において帰宅困難者発生。東京都からの帰宅困難者受入要請を受け、緊急対策会議において避難場所を市民会館大ホール及び口ビーとすることを決定。3月11日午後7時30分から受入開始

イ 防災行政無線、携帯電話情報提供サービス（メール配信）及びホームページへの掲載並びに福生駅、牛浜駅及び拝島駅前の文字表示盤での広報並びに職員による呼びかけ及び誘導並びに避難場所への案内図配布の依頼及び案内図の表示により避難所開設の周知を行った。

ウ 毛布と乾パンの配布

エ 拝島駅からボランティアによる帰宅支援

オ 市民等による食事・新聞等の差し入れ

カ 総避難者数126人（ピークは3月12日午前4時の92人）、職員対応者数20名、3月12日朝7時

30分まで避難所を運営

当日、青梅第一中学校の生徒(420名)が合唱祭のため市民会館を利用。JR不通のため、福生第一中学校体育館にて一時避難(乾パン480個提供)

3 市民等への周知等

- (1) 広報ふっさ臨時号等(4月1日臨時号・4月15日特集号)の発行及び市ホームページにより、大震災に伴う市の対応及び各種関係先問合せ一覧等を市民へ周知
- (2) 災害コールセンターの設置について(3月16日から)
 - ア 問合せ件数 3月16日から4月5日まで1,178件(各部職員応援による。)4月6日からは防災係職員対応(休日及び夜間は当直職員にて対応)
 - 3月13日から同月15日まで761件(総務部職員対応)
 - イ 主な問合せ内容 計画停電、防災行政無線関係

4 計画停電及び節電に伴う対応

- (1) 市の施設の対応
 - ア 市役所の開庁時間延長については、3月16日から同月31日まで休止とし、4月1日からは土曜日の開庁、4月20日からは水曜日の開庁時間延長(午後8時まで)を部署を限定して実施
 - イ 各公共施設の利用時間については、基本的に3月19日から同月31日までは午後5時まで、4月1日からは開館を午後8時までとし、4月20日からは通常どおり開館
 - なお、引き続き節電協力のため、屋外体育施設(市営競技場、福生野球場、テニスコート等)及び小・中学校の校庭については屋外照明の使用不可
- (2) 道路照明灯・公園灯の消灯
 - ア 道路は、やなぎ通り、加美立体通り、田園通り及び元下水道通り(武蔵野台)の交差点などを除いた一部を当分の間消灯
 - イ 公園は、福生公園、日光橋公園、原ヶ谷戸どんぐり公園、福生駅西口公園、牛浜駅東口公園、東福生駅東口公園等14公園を除いて消灯
- (3) 主要な交差点での見守り活動
 - 計画停電時に福生市交通安全推進委員会及び市職員による小・中学生の登下校時の見守り活動を市内の主要な交差点6箇所にて実施(3月15日、17日、18日、22日の4日間。ただし、15日は計画停電は実施されず。)

5 被災者に対する支援状況

(1) 義援金 116,600,002 円 (4月30日までの受付分)

5月23日、市長から日本赤十字社東京都支部事務局長に義援金を渡す。

(2) 支援物資の受付 (福祉センターにて物品を限定して受付を行う。)

品名	内容
乳幼児用おむつ	128 袋
大人用おむつ	277 袋
使い捨てカイロ	1,844 個
飲料水 (ペットボトル)	120 本 (0.5L)、1 本 (1L)、12 本 (1.5L)、36 本 (2L)

支援物資は第1次として3月25日に東京都、第2次は4月5日に茨城県に搬送

(3) 市備蓄品の提供

ア 3月28日に宮城県へ向け、東京都の救援物資集積場所である自衛隊練馬駐屯地へ民間トラック借上げにより搬送

ブルーシート 360 枚	簡易トイレ 60 セット	乾パン約 2,000 食
アルファ米 2,000 食	乾燥おかゆ 2,000 食	3日間食料セット約 3,000 食

救援物資の提供に対して、被災地域の応援に要した経費として4月8日に特別交付税 22,521 千円が特例交付された。

イ 4月27日に東京都市長会を通じて、宮城県石巻市の復旧に必要な土嚢袋^{のう} 500 枚を提供

(4) 避難者の一時受入れの実施

福島原子力発電所の事故に伴う避難者を3月19日から4月19日まで、福祉センターにて受入れ (合計 13 人)

避難者のうち3人(1世帯)は市営住宅、6人(2世帯)は市内賃貸住宅へ、4人は福島県へ既に帰郷

(5) 避難者の住まいの提供

居住可能な空き家、集合住宅の一室などを無償で1年間程度提供いただける方の募集(6月13日現在、11件の申出)

5月15日号広報等で周知し、居住希望者に紹介

(6) 市営住宅の提供

提供戸数3戸、入居期間当面6か月間(家賃・敷金免除)

(7) 自転車の提供 (4 月 19 日)

N P O 法人 (災害建造物復旧・復興支援会議) を通じ、日本青年会議所の協力を得て、福生市自転車等の放置防止等に関する条例 (平成 6 年条例第 26 号) の規定に基づき、所有権を得た放置自転車を宮城県栗原市へ 37 台提供

(8) 被災地への職員派遣

ア 岩手県大槌町へ罹災証明発行等の窓口支援業務として 1 名派遣 (5 月 2 日から同月 7 日まで)

イ 岩手県釜石市へ被災者避難所等の管理運営支援業務として 4 名派遣 (5 月 10 日から同月 15 日まで及び 5 月 30 日から 6 月 4 日まで各 1 名、6 月 23 日から 7 月 1 日まで 2 名)

ウ 福島県浪江町臨時役場 (二本松市) へ被災者生活再建支援金支給業務として 1 名派遣 (6 月 16 日から同月 23 日まで)

エ 宮城県大河原町立大河原小学校へ教諭 1 名派遣 (5 月 9 日から年度末まで)

6 市内への避難者の状況

(1) 避難者総数 51 人 22 世帯 (6 月 13 日現在)

全員全国避難者情報システムへ情報提供書面を提出済み

全国避難者情報システム 各地に避難されている方の情報を全国的に取りまとめ、避難前にお住まいだった県・市町村に情報提供し、見舞金等の各種給付のお知らせや国民健康保険証などの再発行、税や保険料の減免・猶予・納期限延長などの重要なお知らせを届け出できるようにするための都道府県・市町村の事務の連携の総称

(2) 避難者に対するサービス等について

避難者への情報提供の一元化、手続の簡素化などの利便性を図るため、避難者支援カード「ふっさげんきサポートカード」を全国避難者情報システムに登録した方を対象に 6 月 1 日から交付し、提供する各種相談、市内公共施設の使用料・手数料の減免等のサービスを一覧表にまとめ周知

7 中止・延期となった行事等

日 時	件 名	担 当	備 考
平成23年3月11日 金	季節を味わうパン講座 第4回	公民館	延期 4月16日(土)
3月12日 土	講演会「浮世絵の歴史」	生涯学習推進課	中止
3月12日 土	あそびのワールドカフェ	公民館	中止
3月12日 土	ロビーコンサート	公民館	中止
3月12日 土	文学講座「うつほ物語を読む」第5回	公民館	延期 6月4日(土)
3月12日 土	男の料理教室 第9回	公民館	中止
3月12日 土	市民名画劇場「スラムドック\$ミリオネア」	公民館	中止
3月13日 日	平成22年度福生市教育委員会表彰式	庶務課	中止
3月13日 日	児童・生徒による音楽のまちづくりコンサート	指導室	中止
3月13日 日	お茶席体験	公民館	中止
3月13日 日	大人のためのおはなし会	図書館 中央図書館	中止
3月14日 月	くるみるふっさ運営委員会	地域振興課	中止
3月15日 火	七夕まつり実行委員会	地域振興課	中止
3月15日 火	まちづくり景観写真展	まちづくり計画課	中止
3月15日 火	保育室併設講座「見つめよう私の言葉・育もう心のコミュニケーション」第18回	公民館	延期 4月26日(火)
3月15日 火	地方自治講座「自治基本条例案を作ってみよう」第11回	公民館	延期 5月25日(水)
3月15日 火	おはなしボランティア講座 「わらべうた講座」	図書館 中央図書館	中止
3月16日 水	講師派遣援助事業 エッセイつむぎ「エッセイについての講演と合評」	公民館	中止
3月16日 水	くるみるふっさガイドツアー 「市内自慢の品テイスティングツアー」	地域振興課	中止
3月17日 木	自殺総合対策東京会議	健康課	中止
3月17日 木	異文化教室「インドネシア」第1回	公民館 松林分館	中止
3月18日 金	市制施行40周年記念事業 「80's POPヒーローたち」	公民館	延期 6月15日(水)
3月18日 金	季節を味わうパン講座 第5回	公民館	延期 4月22日(金)
3月18日 金	親子共育講座 第7回	公民館 松林分館	中止
3月19日 土	市民活動団体事業支援補助金制度説明会	協働推進課	延期 3月26日(土)
3月19日 土	市民活動スタートアップセミナー	協働推進課	中止
3月19日 土	市政出前講座	協働推進課	延期 6月18日(土)
3月19日 土	文学講座「うつほ物語を読む」第6回	公民館	延期 6月11日(土)
3月20日 日	第7回まちづくり景観フォーラム	まちづくり計画課	中止
3月20日 日	田園児童館事業「キャンドル」	子ども育成課 田園児童館	中止
3月20日 日	会場借上援助事業「福生児童合唱団フレンズ第17回定期演奏会」	公民館	中止
3月21日 祝	田園児童館事業「ドッジボールをしよう」	子ども育成課 田園児童館	中止
3月21日 祝	第2回中学生「東京駅伝」大会	指導室	中止
3月22日 火	市民活動団体事業支援補助金制度説明会	協働推進課	中止
3月22日 火	フッサクラフトvol.2完成報告会	地域振興課	中止

3月23日・24日 25日・30日	水、木 金、水	図書館子ども映画会 「学校の怪談 戦慄の校外編」	図書館 各図書館	中止
3月23日	水	くるみるふっさガイドツアー 「桜と江戸雛を訪ねて」	地域振興課	中止
3月23日	水	Fの店総会・意見交換会	地域振興課	中止
3月23日	水	ふっさっ子の広場機構会議	生涯学習推進課	延期 7月12日(火)
3月24日	木	おはなしボランティア講座 「わらべうた講座」	図書館 中央図書館	中止
3月24日	木	社会教育委員の会議	生涯学習推進課	中止
3月24日	木	交通安全対策協議会	安全安心まちづくり課	延期 4月18日(月)
3月24日	木	安全安心まちづくり市民ひろば	安全安心まちづくり課	中止
3月24日	木	武蔵野台児童館事業「高校生バスケ」	子ども育成課 武蔵野台児童館	中止
3月24日・31日	木	武蔵野台児童館事業「高校生time「Dance Street」」	子ども育成課 武蔵野台児童館	中止
3月24日	木	異文化教室「インドネシア」第2回	公民館 松林分館	中止
3月25日	金	市民活動団体事業支援補助金説明会	協働推進課	中止
3月25日	金	安全安心まちづくり協議会	安全安心まちづくり課	中止
3月25日～ 4月3日		第28回桜まつり	地域振興課	中止
3月26日	土	永田橋完成記念式典	まちづくり計画課 西多摩建設事務所	中止
3月26日	土	福生市都市計画マスタープラン改定に伴う市民検討会	まちづくり計画課	延期 6月18日(土)
3月26日	土	第5回福生市文化財保護審議会	生涯学習推進課	中止
3月26日	土	福生市文化財保護審議会視察研修	生涯学習推進課	中止
3月26日	土	体験 日本の文化「煎茶道」第2回	公民館	延期 5月7日(土)
3月27日	日	福生野球場リニューアルオープン記念式典	スポーツ振興課	中止
3月27日	日	体験 日本の文化「扇の話」	公民館	延期 5月21日(土)
3月27日	日	お茶席体験	公民館	中止
3月27日	日	サロンコンサート	公民館	中止
3月27日	日	セミナー「忙しい毎日をスマートに過ごす」 仕事や子育てが輝くベスト・バランスの見つけ方	協働推進課	中止
3月27日	日	つくし保育園竣工式	子ども育成課	中止
3月28日	月	三鷹・立川間高架化完了に伴う記念祝賀会	企画調整課	中止
3月28日	月	遠足「相模湖リゾートプレジャーフォレストへ行こう」	子ども育成課 熊川児童館	中止
3月29日	火	松林ふれあいコンサート	公民館 松林分館	中止
3月29日	火	地方自治講座「自治基本条例案を作ってみよう」第12回	公民館	延期 6月1日(水)
3月30日	水	スポーツ祭東京2013第68回国民体育大会福生市実行委員会 第2回常任委員会	国体準備室	延期 5月24日(火)
3月30日	水	こどもえいがかい	図書館 中央図書館	中止
4月28日	木	交通安全講習会	安全安心まちづくり課	中止
5月15日	日	第20回ふっさ輝きフェスティバル	生涯学習推進課	中止
5月22日	日	第59回福生市消防団ポンプ操法審査会	安全安心まちづくり課	延期 7月10日(日)
5月29日	日	福生市・福生消防署合同水防訓練	安全安心まちづくり課	中止